

「5.17 国会行動」に全国から178名が参加
介護署名100,290筆、25条署名269,289筆を
手渡しました。

5月17日に中央社保協・全労連・全日本民医連等共催で「5.17 国会行動」を衆議院議員会館で行いました。全国から178人が参加し、神奈川県民医連からは10名（横福協4名、共同組織3名、県連事務局3名）が参加しました。開会挨拶後に、3名の紹介議員より国会情勢報告があり、積み上げられた署名を手渡しました。

また、全日本民医連からの発言として、手遅れ死亡事例調査についての報告も行なわれました。



早稲田議員と直接面会し意見交換



その後の議員要請行動では、神奈川県民医連は立憲民主党の早稲田ゆき議員と直接面会。懇談する時間もとっていただき、介護職員の確保と処遇改善、介護保険制度の問題について意見交換を行いました。

特に訪問介護の訪問回数上限の設定については、毎年の見直しで平均値が下がり、どんどん上限数を減らされる「悪魔のサイクル」に陥る可能性があります。今年10月からの開始を阻止するために、ぜひ働きかけてほしいと伝えました。

また、現在介護職で働く職員より「ぜひ現場を見に来てください。介護職員の労働実態調査も行なうので結果を見て欲しい」と訴えがありました。早稲田議員からは、『現在厚労担当ではないが、党としてしっかりと考えていく。ぜひ労働実態調査の結果も教えてください。同じ神奈川の仲間としてこれからもいろいろとご意見ください』と力強く答えていただきました。

